

キリスト(王国を設立する方)と神の言(王の王、主の主)

聖書：啓 20:1-6, 19:11-16, 19-21

I. キリストは王国を設立する方です——啓 20:1-6：

- A. キリストは彼の敵と戦った後、地上における神の王国、すなわち千年王国を設立し、彼の勝利を得た信者たちと共に千年間、王として支配します——2 節。
- B. 全地は、神の王国が来るための準備として、一掃されなければなりません。
- C. ただ一つのものが残っています。それはサタンであり、すべての問題の源です。
- D. 千年王国に関する章である啓示録第 20 章において最初に述べられている項目は、サタンを縛ることです：
 - 1. 主は十字架上でサタンを裁きましたが、その裁きはまだ完全には執行されていません。
 - 2. 主は戻って来るとき、十字架上でサタンに対して達成した裁きを完全に執行します。
 - 3. サタンは縛られ、アビスの中へと投げ込まれ、行動したりだれかに損害を与えたりする力がなくなります。そのとき、地はキリストの王国となります。
- E. 聖書の予言によれば、千年王国には二つの部分があります。それは上の(天的)部分と、下の(地的)部分です：
 - 1. 千年王国の上の部分は父の王国と呼ばれ(マタイ 13:43)、下の部分は人の子の王国と呼ばれます(41 節)。
 - 2. メシアの王国、またはメシア王国は、千年王国の下の部分の別名です。
- F. 啓示録第 20 章 4 節から 6 節は、王国を設立する方としてのキリストが勝利を得た聖徒たちと共に王として支配することを啓示しています：
 - 1. 勝利者たちはイエス・キリストの王国をもたらすので、主は千年間、王として支配します。そして、勝利者たちも千年間、キリストと共に王として支配します。
 - 2. 啓示録第 20 章 4 節は言います、「わたしは……いくつかの座を見た。そして人々がそれらに座しており、裁く権威が彼らに与えられた」：
 - a. 「人々」という言葉は勝利者を指しています。
 - b. 彼らは今や座に座しており、裁く権威が彼らに与えられています：
 - (1) 裁く権威を持つとは、王国を持つことを意味します——参照、ダニエル 7:10, 18, 22。
 - (2) 啓示録第 20 章 4 節は、勝利者が王国を受けており、それを享受していることを示します。
- G. 勝利者は、イエスの人性が彼らの中へと造り込まれることによって、キリストと共に王として支配するように資格づけられます——啓 2:26。
- H. 勝利者は千年王国においてキリストと共に王として支配し、最上の復活を享受します：
 - 1. 啓示録第 20 章 6 節は「第一の復活」について語っています。
 - 2. 第一の復活は「格別な復活」、すなわち使徒パウロが追い求めた並外れた復活でもありません——ピリピ 3:11。
- I. 啓示録第 20 章 6 節前半は言います、「第一の復活にあずかる者は、幸いであり、聖である」。これは最高の祝福、すなわち地上に実現した王国を受け継ぐこと、また王国の中で王とさえなることであるに違いありません。
- J. 「彼らは神とキリストの祭司であり、千年の間、彼と共に王として支配する」(啓 20:6 後半)。千年王国で勝利者は、神と接触する祭司となり、キリストと共に諸国民を王として

支配する共同の王となります(2:26-27, 12:5)。

II. 啓示録第 19 章 11 節から 16 節と 19 節から 21 節で、キリストは神の言、すなわち王の王、主の主として啓示されています：

- A. キリストは彼の婚宴の後(啓 19:7)、戦う將軍として、彼の花嫁、すなわち、彼の軍隊である勝利を得た信者たちと共に来て、反キリストと戦います。人は、主の主、王の王に逆らって直接戦いさえます：
1. 反キリスト、偽預言者、十人の王とその軍隊は、小羊に逆らって戦います。
 2. この戦いは、天に逆らう地の戦い、神に逆らう人の戦いです。
 3. キリストの敵はますます邪悪になって、神に宣戦布告さえます。
 4. 人が実際に神に宣戦布告することができたとは、実に驚くべきことです。
 5. 花婿であるキリストは、彼の花嫁と共に来て彼らと戦います。
- B. 「見よ、白い馬と、それに座している『忠信』と『真実』と呼ばれる方がおられた。彼は義の中で裁き、また戦う」——啓 19:11：
1. 「忠信と真実」は、キリストの称号となります。
 2. キリストは、神と彼を信じる者たちの両方に忠信です。
 3. 彼はその忠信のゆえに、神に反対し信者を迫害する者たちを打ち破り、滅ぼします。
 4. 彼はまた、神のエコノミーを完成することと、彼を信じる者たちを顧みることに於いて真実です。
- C. キリストは神の忠信で真実な証人であり、白い馬に座し、義の中で裁き、戦います：
1. キリストは戻って来てサタンの不義の力と戦います。その力は今日この世において不法の奥義として働いており、不法の者である反キリストという結果となります——Ⅱテサロニケ 2:3, 7-8。
 2. 全世界はサタンの不義の力の下にあります。
 3. 義の中でキリストは戻って来て、反キリストと彼のすべての仲間が行なった不義と戦います。
 4. キリストは義の中で裁くだけでなく、義の中で戦います。彼は戦うことによって裁きます。
- D. 「彼の名は神の言と呼ばれる」——啓 19:13 後半：
1. これは、主ご自身が神の言であることを示しています。
 2. 主の名が神の言と呼ばれているのは、彼が神の表現、証し、語りかけであることを意味します。
 3. 神の言は、神の定義、説明、表現です。
 4. 神を知るためにわたしたちは、神の言としてのキリストを読み、学び、見つめ、熟慮して、注視する必要があります。
- E. 啓示録第 19 章で、キリストは神の言として、反逆的な人々に神の裁きを執行することによって神のために語ります：
1. 主は戦う時でさえ、神のために語って、神を表現します。
 2. 神は混乱の神ではありません。神は義であり、主権を持っています。彼はまた秩序の神であり、そのような方として彼は無秩序と反逆を容認することができません。
 3. キリストは敵と戦うとき、神が主権を持っており、義であり、秩序正しいということを語ります。
 4. 神はすべての人を支配する神であり、神の権威に対する反逆を容認しないことを、キリストは宣言します。

5. 戦う方は御言です。彼が戦うことは、神の言を語ることです。

6. 主がハルマゲドンでの戦いにおいて戦うことは、力強い語りかけとなります：

- a. それは、サタン、反キリスト、偽預言者、全宇宙に対して、神が主権を持っており、だれも彼に反逆することができないと告げます。
- b. 秩序の神は、すべての反逆を一掃します。

III. キリストは地を所有した後、王国の中で地を王として支配し、彼の勝利を得た信者と共に諸国民を支配します——啓 20:4, 6. 2:26-27：

- A. 彼は来たるべき王として、千年期における神の来たるべき王国でかしらまた中心となります。
- B. これはイザヤ書第 32 章 1 節、エレミヤ書第 23 章 5 節、ゼカリヤ書第 14 章 9 節と 17 節の成就となります。
- C. キリストは地とそのすべての民を贖って(コロサイ 1:20)、王国の範囲と構成要素としました。彼はすべてを売り払って王国を買いました(マタイ 13:44)。彼は地とそのすべての民を、サタンの強奪から救い出しました(啓 20:2-3)。
- D. 彼は、復興された地と復興された諸国民との王となる完全な権利を持ちます。
- E. 彼の来たるべき統治において、神の権威と栄光は完全に現されます(マタイ 6:13)。そして全地とその住民は、義、平和、喜び、神の創造の満ち満ちた祝福の中へともたらされます(イザヤ 32:1, 16-18. 35:1-2, 5-7)。